【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和5年10月24日(2023.10.24)

【公開番号】特開2022-88887(P2022-88887A)
【公開日】令和4年6月15日(2022.6.15)
【年通号数】公開公報(特許)2022-107
【出願番号】特願2020-201006(P2020-201006)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/74(2006.01)
Ｇ０３Ｂ 21/14(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　5/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/74　　Ｄ
Ｇ０３Ｂ 21/14　　Ｄ
Ｇ０６Ｔ　5/00　７３５

【手続補正書】
【提出日】令和5年10月16日(2023.10.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
本実施形態では、特定部３２１は、図２に示す８×８のドットパターンの画像Ｇ１を表す画像データをプロジェクター１０に与えることで、ドットパターンの画像Ｇ１をプロジェクター１０から計測対象物ＳＣに投写させる。なお、画像Ｇ１において黒く塗りつぶされている部分はプロジェクター１０から光を投写されない部分であり、白抜きの部分はプロジェクター１０から光を投写されるドットの部分である。ドットパターンの画像Ｇ１は本開示における第１画像の一例である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
以下、縞パターンの画像を投写されている状態の計測対象物ＳＣの撮像画像において領域ＡＢ１１のみが当該領域の反射特性又は外光等の影響により他の領域よりも輝度が高くなっている場合を例にとって本実施形態の効果を説明する。従来の均一輝度分布に基づく位相シフト方では、領域ＡＢ１１における輝度が飽和しないように全体の輝度が抑制された縞パターンの画像が計測対象物ＳＣに投写されるので、領域ＡＢ１１以外の領域においては撮像画像のシグナル値が低下する。領域ＡＢ１１以外の領域ではＳ／Ｎ比が低下するので相対位相φ（ｘ，ｙ）の算出精度が低下し、計測対象物ＳＣの３次元形状の計測精度が低下する。